

# マンホール蓋交換可視化工法 クイックカッター工法

新技術情報提供システム (NETIS) 登録済み 技術名称: マンホール蓋交換可視化工法 (クイックカッター工法) 登録番号: QS-210004-A

マンホール鉄蓋の交換工事において、無線カメラ付きの円形カッターをバックホウのアタッチメントとして装着することで、アスファルトやコンクリート舗装を切断し、復旧材料として超速硬型高流動性無収縮グラウト(AQCグラウト)を使用した鉄蓋交換工法です。



## 【マンホールソー仕様】

型式: NMS350-1600  
カッター回転速度: 40~148rpm  
定格圧力: 19MPa  
カッター寸法:  $\phi 350 \sim \phi 1600$ まで  
有効切削深さ: 500mm  
カッター昇降ストローク: 600mm  
ドリル・スライド部重量 : 350kg  
カッター重量  $\phi 1000\text{mm}$ : 166kg  
 $\phi 1300\text{mm}$ : 258kg  
 $\phi 1600\text{mm}$ : 420kg

## 【特徴】

- ・カッター昇降速度・降下圧力調整機能付き。
- ・円形切断により施工面積を最小限に抑え施工時間を短縮できます。
- ・0.1~0.2m (3t~4t)クラスのバックホウにカプラで取付可能(要ブレーカー配管)
- ・4t平ボディ車両にバックホウを積載したままでも施工可能です。
- ・カッター内側に無線カメラを装着し、バックホウの運転席のモニターでカッター位置を確認できるため、位置合わせが迅速かつ安全にできます。
- ・吊り下げ式のため、縁石付近でも切断可能。
- ・最大500mmの深さまで切断できるため、舗装厚が厚い場合でも対応できます。

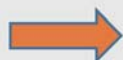


# 施工手順



①

バックホウのアタッチメントにマンホールソーを取り付け、ブレーカー配管と油圧ホースを接続する



②



モニタを見ながら鉄蓋中心に置いたセンタリングサポーターにカッターの位置を合わせる



③

マンホールソー本体のコントローラーを操作し、所定の深さまで舗装版を切断



④

路盤と既設鉄蓋を撤去する



⑤

新規鉄蓋を設置し、AQCグラウトを打設



⑥

表面に舗装材を転圧し完成



## クイックカッター用路盤材『AQCグラウト』

高流動性無収縮モルタル『AQCグラウト』は短時間で硬化し、所定の強度が得られます。水を加え攪拌するだけで安定した流動性が得られ充填性が高い材料です。

『AQCグラウトSP』は充填が4袋(53L)以上となる場合に、硬化時の反応熱蓄積によるクラックの発生を抑制できるため、鉄蓋交換工法の路盤材に最適です。

※1回の使用量が少ない場合は『AQCグラウト Q』をご使用下さい。



本社所在地

〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 1162-1  
TEL: 0537-27-2112 FAX: 0537-27-2122

東京営業所

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-2-5 (御茶ノ水 NKビル7階)  
TEL: 03-3256-8321 FAX: 03-3256-8322

大阪営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-3-12 (新大阪明幸ビル4階)  
TEL: 06-6152-6530 FAX: 06-6152-6531

静岡営業所

〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 1162-1  
TEL: 0537-27-2212 FAX: 0537-27-2219

URL <https://www.aquaintec.co.jp>